

ピリピ

1:4 あなたがたすべてのために祈るたびに、いつも喜びをもって祈り、

◀ 1162. deésis (デイセス) 18回▶(N)祈り、願い(エペソ 6:18)、叫び(1ペテロ 3:12)、必要、

◀ 1162. deésis (デイセス) 18回▶(N)祈り、願い(エペソ 6:18)、叫び(1ペテロ 3:12)、必要、

1:6 あなたがたの間で良い働きを始められた方は、キリスト・イエスの日が来るまでにそれを完成させてくださると、私は確信しています。

1:8 私がキリスト・イエスの愛の心をもって、どんなにあなたがたすべてを慕っているか、その証しをしてくださるのは神です。

@イエスの = (ギ) (RV) イエスの内臓のような (大いなるの意味)

1:12 さて、兄弟たち。私の身に起こったことが、かえって福音の前進に役立つことを知ってほしいのです。

1:13 私がキリストのゆえに投獄されていることが、親衛隊の全員と、ほかのすべての人たちに明らかになり、

@そのほかのすべての人 = 親衛隊の家族や友人 = (噂話による伝道)

1:14 兄弟たちの大多数は、私が投獄されたことで、主にあって確信を与えられ、恐れることなく、ますます大胆にみことばを語るようになりました。

1:15 人々の中には、ねたみや争いからキリストを宣べ伝える者もいますが、善意からする者もいます。

善意 = ◀ 2107. eudokia (ユダキア) 9 回 ▶ (N) よろこばしいこと、親切な意図、喜び、善、願い

ピリ 1:19 というのは、あなたがたの祈りとイエス・キリストの御霊の支えによって、私が切に期待し望んでおりに、このことが結局は 私の救いとなる ことを知っているからです。

祈り = ◀ 1162. deésis (デイセス) 18 回 ▶ (N) 祈り、願い(エペソ 6:18)、叫び(1ペテロ 3:12)、必要、

1:20 私の願いは、どんな場合にも恥じることなく、今もいつものように大胆に語り、生きるにしても死ぬにしても、私の身によってキリストが あがめられる ことです。

あがめられる = ◀ 3170. megalunó (メガルノ) 8 回 ▶ 偉大にする、偉大だと宣言する、あがめる、大きくする、賛美する

1:21 私にとって生きることはキリスト、死ぬことは益です。

(ローマ 14:8 私たちは、生きるとすれば主のために生き、死ぬとすれば主のために死にます。ですから、生きるにしても、死ぬにしても、私たちは主のものです。

コロ 1:24 今、私は、あなたがたのために受ける苦しみを喜びとしています。私は、キリストのからだ、すなわち教会のために、自分の身をもって、キリストの苦しみの欠けたところを満たしているのです。

@この御言葉は、「苦しみたくない」という前提で考えると理解が難しいが、われわれは十字架を背負うという観点で見るとわかります。

キリストの身体は、キリストの御足に従うゆえに苦しみを通ります。  
コロサイの教会も一定の苦しみが与えられていました。パウロの表現によると、  
本来コロサイが苦しむ分をパウロが担っていたのです。

1:24 しかし、この肉体にとどまることが、あなたがたのためにはもっと必要  
です。

1:27 ただキリストの福音にふさわしく生活しなさい。そうすれば、私が行っ  
てあなたがたに会うにしても、離れているにしても、あなたがたについて、こ  
う聞くことができるでしょう。あなたがたは霊を一つにして堅く立ち、福音の  
信仰のために心一つにしてともに戦っていて、

ただ= ◀ 3440. monon (マナン) 67回 ▶ しかし、ただ

@ただ=どんなことがあっても

1:28 どんなことがあっても、反対者たちに脅かされることはない、と。その  
ことは、彼らにとっては滅びのしるし、あなたがたにとっては救いのしるし  
です。それは神によることです。

脅かされる(おびやかされる)= ◀ 4426. pturó (・トウロ) 1回 ▶ 驚かされる  
(改  
2)驚かされる

@驚かされることはない→滅びのしるし→救いのしるし=恐れ  
ない事は敵の滅びであり、われらの救い

1:29 あなたがたがキリストのために受けた恵みは、キリストを信じることだ

けでなく、キリストのために苦しむことでもあるのです。

1:30 かつて私について見て、今また私について聞いているのと同じ苦闘を、あなたがたは経験しているのです。

2:3 何事も利己的な思いや虚栄からするのではなく、へりくだって、互いに人を自分よりすぐれた者と思いなさい。

2:4 それぞれ、自分のことだけでなく、ほかの人のことも顧みなさい。

2:5 キリスト・イエスのうちにあるこの思いを、あなたがたの間でも抱きなさい。

2:6 キリストは、神の御姿であられるのに、神としてのあり方を捨てられないとは考えず、

御姿 = ◀ 3444. morphé ▶ 姿(マルコ 16:12)

あられるのに = ◀ 2233. hégeomai (エゲアマイ) 28回 ▶ 導く、～とみなす

マタ 2:6 『ユダの地、ベツレヘムよ、あなたはユダを治める者たちの中で決して一番小さくはない。あなたから治める者が出て、わたしの民イスラエルを牧するからである。』

@ (名詞的にリーダー、統治者)

ルカ 22:26 しかし、あなたがたは、そうであってははいけません。あなたがたの間で一番偉い人は、一番若い者のようになりなさい。上に立つ人は、給仕する者のようになりなさい。

2 コリ 9:5 そこで私は、兄弟たちに頼んで先にそちらに行ってもら

い、あなたがたが以前に約束していた祝福の贈り物を、あらかじめ用意しておいてもらうことが必要だと思いました。惜しみながらするのではなく、祝福の贈り物として用意してもらうためです。

ピリ 2:3 何事も利己的な思いや虚栄からするのではなく、へりくだって、互いに人を自分よりすぐれた者と思いなさい。

ピリ 2:25 私は、私の兄弟、同労者、戦友であり、あなたがたの使者で、私の必要に仕えてくれたエパフロディトを、あなたがたのところに送り返す必要があると考えました。

ピリ 3:7 しかし私は、自分にとって得であったこのようなすべてのものを、キリストのゆえに損と思うようになりました。

ピリ 3:8 それどころか、私の主であるキリスト・イエスを知っていることのすばらしさのゆえに、私はすべてを損と思っています。私はキリストのゆえにすべてを失いましたが、それらはちりあくたと考えています。それは、私がキリストを得て、

捨てられない = ◀ 725. harpagmos (アルパグマース) 1回 ▶ つかむ、固執する

2:7 ご自分を空しくして、しもべの姿をとり、人間と同じようになられました。人としての姿をもって現れ、

空しくして = ◀ 2758. kenoó (ケナオ) 5回 ▶

しもべ = ドウロ = 奴隷

2:8 自らを低くして、死にまで、それも十字架の死にまで従われました。

2:9 それゆえ神は、この方を高く上げて、すべての名にまさる名を与えられました。

2:10 それは、イエスの名によって、天にあるもの、地にあるもの、地の下にあるもののすべてが膝をかがめ、

2:11 すべての舌が「イエス・キリストは主です」と告白して、父なる神に栄光を帰するためです。

2:11 すべての舌が「イエス・キリストは主です」と告白して、父なる神に栄光を帰するためです。

告白する = ◀ 1843. exomologeó (エクサモロゲオ) 10回 ▶ 同意する、告白する、ほめたたえる

2:12 こういうわけですから、愛する者たち、あなたがたがいつも従順であったように、私がともにいるときだけでなく、私がいらない今はなおさら従順になり、恐れおののいて自分の救いを達成するよう努めなさい。

@自分の救いを達成してください

@ (1テモテ 4:16 自分自身にも、教えることにも、よく気をつけなさい。働きをあくまでも続けなさい。そうすれば、自分自身と、あなたの教えを聞く人たちとを、救うことになるのです。

2:13 神はみこころのままに、あなたがたのうちに働いて<sup>志</sup>を立てさせ、事を行わせてくださる方です。

善意 = ◀ 2107. eudokia (ユダキア) 9回 ▶ (N)よろこばしいこと、親切な意図、喜び、善、願い

@ 「もし神を愛しているのなら自分の願いでは願わない」

エペソ 3:20 どうか、私たちのうちに働く御力によって、私たちが願うところ、思うところのすべてをはるかに超えて行うことのできる方に、

志 = ◀ 2309. theló (セロー) 209 回 ▶ to will , wish だいたい英語と同じ、未来を表現、意思を意味する。また「喜んで～する

2:14 すべてのことを、不平を言わずに、疑わずに行いなさい。

2:17 たとえ私が、あなたがたの信仰の礼拝といういけにえに添えられる、注ぎのささげ物となっても、私は喜びます。あなたがたすべてとともに喜びます。

礼拝 = ◀ 3009. leitourgia (ライトウルギア) 6 回 ▶ 務め(ルカ 1:23)、奉仕の務め(2コリ 9:12)、礼拝(ピリ 2:17)、仕える(ピリ 2:30)、奉仕(ヘブル 8:6)、

(ギ)しかし、たとえ、私が、あなたがたの礼拝(奉仕・仕える事)と信仰という注ぎかけの捧げものになっても、私は喜びます。あなたがたすべてとともに喜びます。

2:19 私は早く テモテ をあなたがたのところに送りたいと、主イエスにあって望んでいます。あなたがたのことを知って、励ましを受けるためです。

2:20 テモテのように私と同じ心になって、真実にあなたがたのことを心配している者は、だれもいません。

@ テモテのように私と同じ心になって = パウロは自分自身をあらわすのにテモテを送った。

I コリ 4:17 そのために、私はあなたがたのところにテモテを送りました。テモテは、私が愛する、主にあって忠実な子です。彼は、あらゆるところのあらゆる教会で私が教えているとおりに、キリスト・イエスにある私の生き方を、あなたがたに思い起こさせてくれるでしょう。

2:21 みな自分自身のことを求めている、イエス・キリストのことを求めています。

2:22 しかし、テモテが適任であることは、あなたがたが知っています。子が父に仕えるように、テモテは私とともに福音の**ために** **奉仕してきました**。

ために = ◀ 1519. eis (アイス) 1774 回 ▶ (to, into) ~へ、~に

奉仕してきました = ◀ 1398. douleuó (ドウルオー) 25 回 ▶ 奴隷となる、仕える

@福音に奉仕して来ました = (DH 2) 福音を通じて証明してきた

2:25 私は、私の兄弟、同労者、戦友であり、あなたがたの**使者**で、私の必要に仕えてくれた**エパフロディト**を、あなたがたのところに送り返す必要があると考えました。

使者 = apostolos = ◀ 652. apostolos (アパストラス) 80 回 ▶ 使徒、使者、ミッションのため使わされた者

@エパフロディトは「使徒」であった。

この単語は聖書に 80 回登場するが、3 か所を除いてすべて「使徒」と訳され



ている。

その中でヨハネ以外の二か所も、「使者」ではなく「使徒」と訳すべきだった疑いが濃厚。

ヨハネ 13:16 まことに、まことに、あなたがたに言います。しもべは主人にまさらず、遣わされた者は遣わした者にまさりません。

第2コリント 8:23 テトスについて言えば、彼は私の仲間であり、あなたがたのために働く同労者です。私たちの兄弟たちについて言えば、彼らは諸教会の使者であり、キリストの栄光です。

**KJV: brethren [be enquired of, they are] the messengers of the churches,**

ピリピ 2:25 私は、私の兄弟、同労者、戦友であり、あなたがたの使者で、私の必要に仕えてくれたエパフロディトを、あなたがたのところに送り返す必要があると考えました。

**KJV: your messenger, and**

@十二使徒+パウロ以外に使徒がないという間違った解釈が誤訳させた。

ピリ 2:26 彼はあなたがたみなを慕っており、自分が病気になったことがあなたがたに伝わったことを、気にしているからです。

もだえる = ◀ 85. Adémoneó (アデマネオ) 3回 ▶ 感じる、恐れる、元気を失う、苦しむ

マタ 26:37 そして、ペテロとゼベダイの子二人と一緒に連れて行かれたが、イエスは悲しみもだえ始められた。

マルコ 14:33 そして、ペテロ、ヤコブ、ヨハネと一緒に連れて行かれた。イエスは深く悩み、もだえ始め

3:1 最後に、私の兄弟たち、主にあつて喜びなさい。私は、また同じことをいくつか書きますが、これは私にとって面倒なことではなく、あなたがたの安全のためにもなります。

@喜びなさい、安全のため=喜びは私たちの安全地帯

@喜んで仕えないのは罪

(申 28:47) 28:47 あなたがすべてのものに豊かになる中で、あなたの神、【主】に喜んで心の底から仕えようとしないので、

3:2 犬どもに気をつけなさい。悪い働き人たちに気をつけなさい。肉体だけ  
の割礼の者に気をつけなさい。

肉体だけの割礼の者=カタタメイ (ギ) 自らに割礼を施す者達というニアンスか

◀ 2699. katatomé (カタタメイ) 1回▶(N) 切断という意味からきているようだ。

◀ 4061. peritomé (ペリタメイ) 36回▶(N)割礼

3:2 犬どもに気をつけなさい。悪い働き人たちに気をつけなさい。肉体だけの割礼の者に気をつけなさい。

@割礼派=異邦人 肉体だけの割礼の者=カタトメ (ギ) 自らに割礼を施す者達というニアンス

@クリスチャンになった後に割礼を受け、トーラーのくびきを負った人たち。

3:3 神の御霊によって礼拝し、キリスト・イエスを誇り、肉に頼らない私たちこそ、割礼の者なのです。

@誇り=(英訳)Glory

3:5 私は生まれて八日目に割礼を受け、イスラエル民族、ベニヤミン部族の出身、ヘブル人の中のヘブル人、律法についてはパリサイ人、

@ 2 コリ 11:22 彼らはヘブル人ですか。私もそうです。彼らはイスラエル人ですか。私もそうです。彼らはアブラハムの子孫ですか。私もそうです。

@ローマ 11:1 それでは尋ねますが、神はご自分の民を退けられたのでしょうか。決してそんなことはありません。この私もイスラエル人で、アブラハムの子孫、ベニヤミン族の出身です。

3:7 しかし私は、自分にとって得であったこのようなすべてのものを、キリストのゆえに損と思うようになりました。

3:8 それどころか、私の主であるキリスト・イエスを知っていることのすばらしさのゆえに、私はすべてを損と思っています。私はキリストのゆえにすべてを失いましたが、それらはちりあくただと考えています。それは、私がキリストを得て、

3:9 キリストにある者と認められるようになるためです。私は律法による自分の義ではなく、キリストを信じることによる義、すなわち、信仰に基づいて神から与えられる義を持つのです。

キリストを信じることによる=(ギ)キリストの信仰による

(KJV) but that which is through the faith of Christ (正しい)

(NKJ) but that which is through faith in Christ (間違い)

(ギ)(TR) Pistis(4102 ) Christos(5547)=キリストの信仰。(HUB) pisteōs Christou

★

船の右側2020 4月 Vol.76の記事より浅野淳博氏(関西学院大学神学部教授)の講演内容

「クリストゥー」は「クリストス」という主語名詞が語尾変化して「キリストの」という属格名詞になったもので「ピスティス・クリストゥー」を直訳すれば、「キリストの信頼性」になると説明。

今回の聖書協会共同訳では「キリストの真実」と訳している。

なお新共同訳で「キリストへの信仰」、新改訳2017で「キリストを信じること」と訳されていることについては、文法上はそうとも訳し得るとした。

★

Sower #46 2019 日本聖書協会

困難をどう乗り越えたか

(島先)今度はすこし話題を変えまして、困難をどういうふうに乗り越えたか、大変だったところに焦点を当てていきたいとおもうんですけど。

(阿部) やっぱりピスティス問題ですよ。かなり遅くまで続いた議論だったと思う。初めの頃は、新約部会、訳語検討会とか、そういうレベルでは「信実」というのが圧倒的多数なのです。その頃もわたしは「信仰」で行くべきだという言い方をしていた。最終的に「真実」ということにした。ただ、そうすると、ロマ書で、どこまでを「真実」、どこからを「信仰」と訳さなきゃならないという問題が起きるんです。・・・

★

使徒 3:16 このイエスの名が、その名を信じる信仰のゆえに、あなたがたが今見て知っているこの人を強くしました。イエスによって与えられる信仰が、この人を皆さんの前で、このとおり完全なからだにしたのです。

(KJV) the faith which is by him hath given him

(NKJ) the faith which comes through Him has given him

@御名を信じる信仰のゆえに＝ 信仰とはその名を信じること

@イエスによって与えられる信仰＝ 信仰とは与えられるもの

ロマ 3:22 すなわち、イエス・キリストを信じることによって、信じるすべての人に与えられる神の義です。そこに差別はありません。

(KJV) by faith of Jesus Christ (正しい)

(NKJ) by faith in Jesus Christ (間違い)

＝ (改4・欄外) イエス・キリストの真実(間違い)

TRとRVSのどちらも同じ意味

(TR) dia Pīstis(4102) Iēsous(2424 ) Christos(5547) (by faith of Jesus Christ)(KJV)

(RVS) (HUB) pisteōs Iēsou Christou (through faith from Jesus Christ)(HUB)

(エターナル TR)イエスキリストへの信仰×

ガラ 2:16 しかし、人は律法を行うことによってではなく、ただ①イエス・キリストを信じることによって義と認められると知って、私たちも②キリスト・イエスを信じました。律法を行うことによってではなく、③キリストを信じることによって義と認められるためです。というのは、肉なる者はだれも、律法を行うことによっては義と認められないからです。

キリストを信じることによって＝

(KJV) be justified by the faith of Chris (正しい)

(NKJ) be justified by faith in Christ (間違い)

①

(TR) dia pistis Iesous Christos (by the faith of Jesus Christ)(KJV)

(RVS) dia pisteos Christou ⇔ Iesou (through faith Christ ⇔ from Jesus)(HUB)

(エターナル TR)イエスキリストへの信仰×

②

(TR) pisteou eis Iesous Christos (have believed in Jesus Christ)(KJV)

(RVS) eis Christon Iesoun episteusamen (in Christ Jesus have believed)(HUB)

③

(TR) ek pistis Christos (by the faith of Christ)(KJV), by faith in Chris(NKJ)

(RVS) ek pisteos Christou (by faith from Christ)(HUB)

(エターナル TR)イエスキリストへの信仰×

ガラ 3:22 しかし聖書は、すべてのものを罪の下に閉じ込めました。それは約束が、イエス・キリストに対する信仰によって、信じる人たちに与えられるためでした。(ギ) Pistis(4102) Iēsous(2424) Christos(5547)=イエス・キリストの信仰

(KJV) by faith of Jesus Christ (正しい)

(NKJ) by faith in Jesus Christ (間違い)

(TR) ek pistis Iesous Christos (by faith of Jesus Christ)(KJV),

(RVS) pisteos Iesou Christou (by faith from Jesus Christ)(KJV)

(エターナル TR)イエスキリストへの信仰×

ピリピ 3:9 キリストにある者と認められるようになるためです。私は律法による自分の義ではなく、キリストを信じることによる義、すなわち、信仰に基づいて神から与えられる義を持つのです。

@正しくはキリストの信仰による

(KJV) but that which is through the faith of Christ (正しい)

(NKJ) but that which is through faith in Christ (間違い)

(ギ)(TR) Pistis(4102) Christos(5547)=キリストの信仰。(HUB) pisteōs Christou

3:10 私は、キリストとその復活の力を知り、キリストの苦難にもあずかって、  
キリストの死と同じ状態になり、

3:11 何とかして死者の中からの復活に達したいのです。

(ギ) 知る、彼を、そして彼の蘇りの力を、そして彼の苦しみの交わりを、彼の死と同じ状態になり、

(ギ) 何としても 死からの復活に達したい。

苦難にもあずかって=(ギ)苦しみの交わり = (KJV) the fellowship of his sufferings

交わり = ◀ 2842. koinōnia 19 回 ▶ 交わり、援助(ロマ 15:26)、あずかる(ピリ 3:10)(1 コリ 10:16)

@交わりのいけにえにえ=(改 2)和解のいけにえ

レビ

7:11 【主】に献げられる交わりのいけにえについてのおしえは、次のとおりである。

7:12 もし感謝のためにそれを献げるのなら、感謝のいけにえと一緒に、油を混ぜた種なしの輪形パンと、油を塗った種なしの薄焼きパン、さらに、油を混ぜてよくこねた小麦粉の輪形パンを献げる。

7:13 感謝のための交わりのいけにえと一緒に、種入りの輪形パンを献げる。

7:14 そして、それぞれのささげ物から一つずつを取り、【主】への奉

納物として献げる。これは、交わりのいけにえの血を振りかける祭司のものとなる。

7:15 感謝のための交わりのいけにえの肉は、それが献げられるその日に食べ、少しでも朝まで残しておいてはならない。

3:12 私は、すでに得たのでもなく、すでに完全にされているのでもありません。ただ捕らえようとして追求しているのです。そして、それを得るようと、キリスト・イエスが私を捕らえてくださったのです。

3:13 兄弟たち。私は、自分がすでに捕らえたなどと考えてはいません。ただ一つのこと、すなわち、うしろのものを<sup>忘れ</sup>、前のものに向かって身を伸ばし、

@忘れ = (RV) 置いて

3:14 キリスト・イエスにあって神が上に召してくださるという、その賞をいただくために、目標を目指して走っているのです。

3:15 ですから、大人である人はみな、このように考えましょう。もしも、あなたがたが何か違う考え方をしているなら、そのことも神があなたがたに明らかにしてください。

3:16 ただし、私たちは到達したところを基準にして進むべきです。

3:17 兄弟たち。私に倣う者となってください。また、あなたがたと同じように私たちを手本として歩んでいる人たちに、目を留めてください。

1 コリ 11:1 私がキリストに倣う者であるように、あなたがたも私に倣う者でありなさい。



ガラ 4:12 兄弟たち、あなたがたに願います。私もあなたがたのようになったのですから、あなたがたも私のようになってください。あなたがたは私に悪いことを何一つしていません。

ピリ 3:17 兄弟たち。私に倣う者となってください。また、あなたがたと同じように私たちを手本として歩んでいる人たちに、目を留めてください。

エペ 5:1 ですから、愛されている子どもらしく、神に倣う者となりなさい。

Iテサ 1:6 あなたがたも、多くの苦難の中で、聖霊による喜びをもってみことばを受け入れ、私たちに、そして主に倣う者になりました。

3:20 しかし、私たちの国籍は天にあります。そこから主イエス・キリストが救い主として来られるのを、私たちは待ち望んでいます。

3:21 キリストは、万物をご自分に従わせることさえできる御力によって、私たちの卑しいからだを、ご自分の栄光に輝くからだと同じ姿に変えてくださいます。

万物 = ◀ 3956. pas (パス)1248 回 ▶ (A)すべての、全体の、

4:1 ですから、私の愛し慕う兄弟たち、私の喜び、冠よ。このように主にあって堅く立ってください。愛する者たち。

@愛し慕う兄弟たち、私の喜び、冠よ = 弟子たちはパウロの誉れ、証明だった

Iテサ 2:19 私たちの主イエスが再び来られるとき、御前で私たちの望み、喜び、誇りの冠となるのは、いったいどれでしょうか。あなたがたではありませんか。

4:2 ユウオディアに勧め、シンティケに勧めます。あなたがたは、主にあつて同じ思いになってください。

@ 2人の有力な婦人奉仕者に争いがあった。

4:4 いつも主にあつて喜びなさい。もう一度言います。喜びなさい。

4:5 あなたがたの寛容な心が、すべての人に知られるようにしなさい。主は近いのです。

4:6 何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。

感謝 = ◀ 2169. eucharistia (ユハリスティア) 15回 ▶

@感謝をもって = まだ見ていないが信仰によって

祈り = ◀ 4335. proseuché (プラスウヘィ) 37回 ▶ (N) 祈り (真剣な祈り) (語源は 4336. proseuchomai (普通に祈る))

願い = ◀ 1162. deésis (デイセス) 18回 ▶ (N) 祈り、願い (エペソ 6:18)、叫び (1ペテロ 3:12)、必要、

4:7 そうすれば、すべての理解を超えた神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあつて守ってくれます。

心 = ◀ 2588. kardia (カルディア) 158回 ▶ 心

思い＝◀ 3563. nous (ヌース) 24 回▶ 思い、理解、知性

新改訳では何度も「心」と訳されるがここでは「カルディア」と並記なので「思い」と訳された。

@そうすれば・・・平安が＝祈れば答えが来ると書いてないが、平和が来る。私たちと神との関係は祈りの答えがあるかどうかにはよらない

4:8 最後に、兄弟たち。すべて真実なこと、すべて尊ぶべきこと、すべて正しいこと、すべて清いこと、すべて愛すべきこと、すべて評判の良いことに、また、何か徳とされることや称賛に値することがあれば、そのようなことに心を留めなさい。

4:9 あなたがたが私から学んだこと、受けたこと、聞いたこと、見たことを行いなさい。 そうすれば、平和の神があなたがたとともにいてくださいます。

4:11 乏しいからこう言うのではありません。私は、どんな境遇にあっても満足することを学びました。

満足する＝(改2)満ちたりる

@満ち足りることを＝喜ぶことを (RV)

@51:11 【主】に贖われた者たちは帰って来る。彼らは喜び歌いながらシオンに入り、その頭には、とこしえの喜びを戴く。楽しみと喜びがついて来て、悲しみと嘆きは逃げ去る。

4:12 私は、貧しくあることも知っており、富むことも知っています。満ち足りることに飢えることにも、富むことにも乏しいことにも、ありとあらゆる境遇に対処する秘訣を心得ています。

4:13 私を強くしてくださる方によって、私はどんなことでもできるのです。

私を強くしてくださる方=(ギ) 私を強くしてくださる方であるキリスト

(KJV) I can do all things through Christ which strengtheneth me.

2 コリ 13:8 私たちは、真理に逆らっては何もすることができませんが、真理のためならできます。

マル 9:23 イエスは言われた。「できるなら、と言うのですか。信じる者には、どんなことでもできるのです。」

4:14 それにしても、あなたがたは、よく私と苦難を分け合ってくださいました。

4:17 私は贈り物を求めているのではありません。私が求めているのは、あなたがたの霊的な口座に加えられていく実なのです。

あなたがたの霊的な口座に加えられていく実なのです。=(改2)あなたがたの収支を償わせて余りある霊的祝福なのです。

= (ギ・英語) the fruit abounding to the (logon) of you.

Logon= ◀ 3056. logos ▶ 言葉、演説、会計

4:18 私はすべての物を受けて、満ちあふれています。エパフロディトからあなたがたの贈り物を受け取って、満ち足りています。それは芳ばしい香りであって、神が喜んで受けてくださるささげ物です。

@贈り物、芳ばしい香り、供え物

4:19 また、私の神は、キリスト・イエスの栄光のうちにあるご自分の豊かさ

にしたがって、あなたがたの必要をすべて満たしていただきます。

@ (詩 37:25 若かったころも年老いた今も私は見たことがない。正しい人を見捨てられることを。その子孫が食べ物を乞うことを。

4:22 すべての聖徒たち、特にカエサルの家に属する人たちが、よろしくと言っています。

@カイザルの家=クリスチャンになった。